

令和5年度 放課後等デイサービス(個別)自己評価表

放課後等デイサービス事業所四日市市立あげぼの学園

		チェック項目	はい	どちらともい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページでの公開や施設内でも掲示して周知できるようにしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			園内の研修会への参加と、各職種ごとの専門的な外部研修などに参加し、質の向上を図っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			お子さんの状況、姿、発達段階等について評価、分析し、支援計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			標準化された発達検査などを用いて、お子さんの発達段階、特性、姿等を把握できるようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			多職種が参加して支援会議を行い、支援計画を検討している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			多職種各々の個別支援の為、毎回異なるプログラムで行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			<input type="radio"/>	個別支援のため、行っていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		個別支援のみの支援内容となっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		個別支援のため、複数職員での対応はないが、必要に応じ、支援内容の検討などを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		個別支援のため、終了後の打ち合わせはないが、各自で振り返りを行っている。また、必要に応じ他職種とも情報共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上はモニタリング、支援会議を行い、個別支援計画の見直し作成を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			自立生活を支援するための活動が中心になっているが、余暇活動につながるような内容等も取り入れている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			利用いただいているお子さんが多く、十分ではないが、できるだけ参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		利用人数が多く、十分な連絡調整は難しい。学校の先生に見学に来ていただき、お子さんの状況について共有するようには努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		保護者同席の為、保護者を介し連絡できるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要があれば保護者の許可を得て連携をとっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	サービス担当者会議などの機会をとらえて参加し、情報を共有していくようには努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別支援のため、機会をもうけていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			あけぼの学園としては参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別支援の中で、保護者からの相談に対応する形で支援は行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の時に説明を行っている。また、随時、質問に応じ説明等を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	保護者会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	個別支援のため、行っていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	個別支援のため、行っていない。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別支援のため、行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員には周知している。また、保護者にも文書を配布・掲示しているが、周知が不十分な面がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	限られた参加人数ではあるが、訓練を実施して、主に職員の動きの確認を行っている。また、職員は毎月、地震・火災・不審者侵入を想定した訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を開催している。園内研修を実施したり、外部の研修に参加した職員より、伝達講習をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等の適正化のための指針を作成・掲示して、周知に努めている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事の提供はないが、アレルギーについて聞き取り、把握はしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			